

中学校生活の概要と教育課程

1 小学校までとの違い

中学校では、令和3年度から新学習指導要領の全面実施となりました。1週間あたりの授業時間（コマ数）は29時間であり、小学校から変わる点としては、授業の1単位時間が45分から50分になります。また、教科名も、算数が数学に、図工が美術に、体育が保健体育に、家庭科が技術・家庭に変わります。学習内容は、小学校に比べて広く深くなっていきますが、学校での授業に真剣に取り組んでいれば、理解できる内容となっています。

その一方で、小学校までと異なり、毎日宿題が課されるとは限りません。1つも宿題が出ない日もあれば、短期間で複数の課題が与えられることもあります。学習内容を定着させるためには、小学校までと同様に日頃から家庭学習に取り組む習慣を身に付けることが必要です。ところが、中学校では小学校ほど教員が手厚くサポートをするとは限りません。生徒本人が自身の課題やタスクを客観的に認知し、その実行・解決に向けてどうすべきかを考え、自ら計画を立てて生活することが求められます。

また、中学校の授業では教科ごとに担当教師が変わり、各教科専任の教員が授業を受け持つこととなります。これは、各教科の学習内容が小学校の授業に比べて広く深くなり、専門的な能力が要求されるためです。学級担任は主に朝の会、給食、道徳、学級活動、帰りの会を担当します。総合的な学習の時間は学年共通の時間に行い、学年の担当教員が授業を実施します。本校では「チームUp担任制」を採用し、複数の学級担任が複数のクラスを受け持つ形式となっています。詳細につきましては下記の「3 チームUp担任制」をご覧ください。

2 令和6年度 各教科等授業時数（単位：時間 年間35週扱い）

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技術	英語	道徳	総合	特活	合計
一	年間	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
	週前期	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	1	29
年	週後期	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	2	1	29
二	年間	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
年	週	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	2	1	29
三	年間	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015
年	週	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	2	1	29

※1年生に合わせて、10月中旬を目安に前期／後期の授業時数（時間割）を変更。

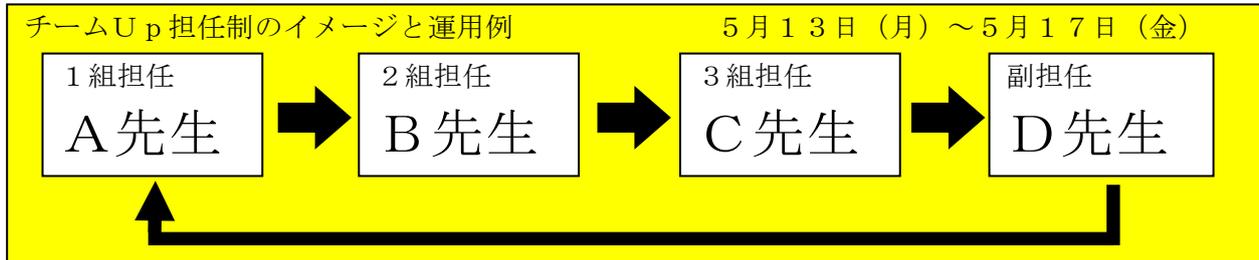
※1年生前期の音楽と美術は隔週で入れ替える時間を設定し、2週間で3時間ずつ実施。

3 チームUp担任制

本校の「チームUp担任制」は3クラス単位で1チームを構成し、4名の学年職員が交替しながら担任業務を行う形を基本としています。クラスに入る職員が朝の会などの業務を行い、クラスに入らない職員が出欠確認などの業務を行います。学年によって2クラスで職員3名のチームや、4クラスで職員5～6名のチームになることもあります。

職員交替の周期は学年ごとに異なりますが、数日から1週間程度を目安に輪番で担当クラスを変えています。年度当初や行事前などには一時的に担任を固定する場合があります。担任への連絡事項がある場合や三者面談などの際はチームの職員のうち1名が対応します。

特別支援学級ではこの制度を導入せず、固定担任制を採用しています。全クラス合同による朝の会や帰りの会を行うこともあります。



4 定期テスト

令和6年度、本校では定期テストを実施しませんでした。各教科の授業時間内に実施した成果物や小テスト等を用いて、学期末の評価・評定を算出しました。いわゆる「テスト期間」と呼ばれる校内統一の部活動停止期間はありませんが、部活動ごとに学業集中のための部活動停止期間を各学期に1～2回設けるようにしています。

また、教科により「学力定着度診断問題（実力テスト）」を学期に1回実施する場合があります。日常の授業で学習した知識や考え方を初見の問題に応用できるかを確認する目的で実施しています。外部模試や高校入試は50分単位のテストであり、時間配分や大問構成などに慣れるという目的もあります。年度や教科によって実施しない場合もあります。

5 学習状況の評価について（通知表での評価・評定）

令和3年度より実施されている学習指導要領は、各教科等の内容を（1）「知識及び技能」、（2）「思考力、判断力、表現力等」、（3）「学びに向かう人間性等」の3つで示しています。それに伴い、各教科の通知表の観点別評価は以下の3項目になりました。

A「知識・技能」・・・上記の（1）にあたる観点

「知識・技能」の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているか等の評価します。

B「思考・判断・表現」・・・上記の（2）にあたる観点

「思考・判断・表現」の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているか进行评估します。

C「主体的に学習に取り組む態度」・・・上記の（3）にあたる観点

「主体的に学習に取り組む態度」の評価は、学習の進め方について試行錯誤をするなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面进行评估します。

具体的な評価方法については、授業内で課される実験や観察、論述やレポート、グループでの話し合いや発表、作品や表現等の活動の記録、また、それらを集めたポートフォリオを使用します。ペーパーテストについては、小テストや単元テストを行い、1回あたりの範囲を狭くすることで、生徒自身が理解の不十分なところをわかりやすくします。教科によってはテストを行わず、授業中の課題や記録のみで評価する場合があります。観点別評価については「相対評価」ではなく「絶対評価」で行います。評定については、観点別評価の達成度に基づいて決めています。

○観点別評価について（A、B、Cの3段階）

- ・ A 「十分に満足できる」状況と判断されるもの
- ・ B 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- ・ C 「努力を要する」状況と判断されるもの

※長期欠席等で評価材料が不足している場合、観点別評価が「/」となることがあります。

○評定について（5、4、3、2、1の5段階）

- ・ 5 「十分満足できる状況のうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
- ・ 4 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- ・ 3 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- ・ 2 「努力をようする」状況と判断されるもの
- ・ 1 「一層努力を要する」状況と判断されるもの

※観点別評価に「/」が含まれる場合、評定も「/」になることがあります。

*** 1 観点別「AAA」でも評定「4」や、観点別「CCC」でも評定「2」の場合があります。**

*** 2 各教科の具体的な評価方法等についてはシラバス（学校HP上に公開）でお知らせします。**

新座市立第二中学校 令和6年度 第3学期 第1学年18G組10番 通称姓 通称名

学習の記録

3年次の調査書に記載されます。

教科	観点	1学期		2学期		3学期		学年 評定
		評価	評定	評価	評定	評価	評定	
国語	知識・技能	A	5	B	4	C	3	2
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
社会	知識・技能	A	1	B	5	C	4	3
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
数学	知識・技能	A	2	B	1	C	5	4
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
理科	知識・技能	A	3	B	2	C	1	5
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
音楽	知識・技能	A	4	B	3	C	2	1
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
美術	知識・技能	A	5	B	4	C	3	2
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
保健体育	知識・技能	A	1	B	5	C	4	3
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
技術・家庭	知識・技能	A	2	B	1	C	5	4
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		
外国語	知識・技能	A	3	B	2	C	1	5
	思考・判断・表現	B		C		A		
	主体的に学習に取り組む態度	C		A		B		

特別活動の記録

【3学期学級活動】0 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (一〇
〇文字)

係、委員会、学校行事、部活動、表彰、資格など

その学期内で確認できたものが記載されます。

特別の教科 道徳

【3学期道徳】8 9 0 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (一〇
〇文字)

年度末のみ記載します。

総合的な学習の時間

【3学期学習活動1学習活動1】6
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (一〇
〇文字)

年度末のみ記載します。

生活所見

【3学期所見】8 9 0 1 2 3 4 5 6
7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2
3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8
9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4
5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 (一〇
〇文字)

年度末のみ記載します。

出欠の記録

3年次の調査書に記載されます。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
授業日数	21	22	20	21	22	20	21	22	20	21	22	232
出席停止・ 忌引等の日数	2	4	3	1	3	2	4	2	1	3	5	30
出席しなければ ならない日数	19	18	17	20	19	18	17	20	19	18	17	202
欠席日数	2	4	6	8	5	1	3	5	7	4	6	51
出席日数	17	14	11	12	14	17	14	15	12	14	11	151
遅刻数	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	17
早退数	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	23

通常日課(50分時程)			
	月曜日	火～金曜日	業前なし日課
	(5時間授業)	(6時間授業)	(6時間授業)
登校・着席	8:00-8:30		
朝読書	8:30-8:40		
朝の会	8:40-8:50		8:30-8:40
第1校時	8:55-9:45		8:45-9:35
第2校時	9:55-10:45		9:45-10:35
第3校時	10:55-11:45		10:45-11:35
第4校時	11:55-12:45		11:45-12:35
給食	12:45-13:20		12:35-13:10
昼休み	13:20-13:40		13:10-13:30
第5校時	13:45-14:35		13:35-14:25
第6校時		14:45-15:35	14:35-15:25
清掃	14:35-14:50	15:35-15:50	
帰りの会	14:55-15:05	15:55-16:05	15:30-15:40
専門委員会 ジャンプアップ			15:45-16:05

※日によって実際の曜日と日課が異なる場合がある。

※上記以外の特別日課の場合は別途日課表を提示する。

「専門委員会」・・・生徒会本部、〇〇委員会、〇〇実行委員会などの時間。未所属の人は下校。
 「ジャンプアップタイム」・・・授業時間外に学年単位で活動する時間。教科学習が中心。